

池添友一さんにご講演をいただきました。

2016年8月6日(日)、三重県松坂市で農業を営まれている池添友一さんのお話しをお伺いしました。15年間、肥料と農薬を与えない自然農を実践し、種の自家採取を中心に営農をされている方です。松坂でも子どもたちの保養活動を実施されています。

もともとは農業者大学校を卒業されてから縁あって鹿児島から今の土地にいらしたそうです。米をはじめ雑穀類(あわ・きび・ひえ・アマランサスなど)は30種類以上育て、日本の在来種を地域に昔からお住まいの方に種を譲り受けて育ててらっしゃいます。在来種の種は種苗会社から買うF1の種と違い、肥料がなかった時代にも育てていたものであるため、無肥料でもちゃんと実を結ぶそうです。微生物の力を借りた土の中の多様性が生育の鍵であるとの事。

新しい土地で農業をする、という暮らし方について。試行錯誤をしながら自然農を実践し、いかに経営をしていくかについて。地域の方との関係をつくってきた経緯についてなど詳しくお話しをいただきました。

参加者からは「農業をはじめたきっかけはどのようなものでしたか?」「農薬を使っていた土地を自然農ではじめていくにはどうしたらいいのでしょうか?」など自然農を営む視点からの健康な身体づくりと生活について、質疑応答が複数の方から上がっていた盛況な会となりました。池添さん、貴重なお話をありがとうございました。